



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第34回例会(3月18日)
平成28年3月25日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 岩野 法光
幹事 吉江 信博
会報 福田 荘介
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

Be a gift to the world. '世界へのプレゼントになろう'..... K. R. ラビンドラン

2015-2016 年度

環境保全ポスター表彰式

受賞者のことば



(向かって左より) 銀賞：米沢彩乃様・金賞：伊藤美喜様・銅賞：中田茉莉様

●金賞 伊藤美喜様

盛岡情報ビジネス専門学校1年の伊藤美喜と申します。

このたびは名誉な賞を頂き、誠にありがとうございます。

主催者の方々に心より御礼申し上げます。

今回の作品は、パッと見て目をひくものにしたいたいと思い、身近なものを組み合わせてポスターにすることにしました。そこで沢山の案と下書きを書き、先生方に相談しながら納得のい

く作品を作ることが出来ました。つみ木の上にいるシロクマは下の状況に気づいていません。それは、今の環境問題において、私たちにも言える状況ではないか。と、見て考えが広まる作品にできました。

今回このような賞をいただいたのは、沢山のアドバイスをくれた先生方のお陰だと思えます。本当にありがとうございました。

今回の受賞を励みに、驕ることなく精進していこうと思います。

●銀賞 米沢彩乃様

盛岡情報ビジネス専門学校1年の米沢彩乃です。

私は地球環境のポスターを作成するにあたって、地球温暖化の原因について調べることから始めました。

そして原因のうちの一つに牛や家畜動物たちのげっぶがあると知りました。今まで地球環境の改善を呼びかけるポスターでは牛を起用したポスターを見たことがなくあまり牛のげっぶが原因の一つである事は知られていないのではないかと思い牛をイメージに使用しました。また牛を使用することでインパクトがあり人の目を引くことができる作品に仕上がったと思います。今回の賞をいただいたことを励みにこれか

らも作品制作をがんばりたいと思います。ありがとうございました。

●銅賞 中田茉莉様

今回、岩手県芸術祭で銅賞を頂き、とても嬉しく思います。

この賞を頂いたのは、家族、友人、先生方のおかげだと日々感じています。特に今の学校に入学すると決まってからずっと応援してくれていた母のいここには言葉では言い表せないくらい感謝しています。

今回の受賞が母のいここに少しでも恩返しになっていたらうれしいです。

この賞を糧にこれからもがんばっていきます。本日は本当にありがとうございました。



講評

岩手デザイナー協会 会長
村上 由美子 様

こんにちは。岩手デザイナー協会の村上由美子と申します。本日は環境保全ポスターの表彰式にお招きいただきまして、誠に、ありがとうございます。また、かねてより当協会の活動に対しましては、さまざまな御支援をいただきまして、心より厚く御礼申し上げます。

第68回を数えました岩手芸術祭・デザイン部門の環境課題におきまして、30点余りの応募作品の中から金賞・銀賞・銅賞に輝かれた皆さま、本当に、おめでとうございます。それぞれの作品につきましては後ほど、講評を述べさせていただきます。

そもそも春とは、長く厳しい冬のトンネルから抜け出して、心浮かれる時節かと思われませんが、あの5年前の3月11日、忘れもしない東日本大震災が起きてからというもの、一市民として心の中の景色までガラリと変わるかのような気持ちがあります。震災から5年を迎え、さまざまなメディアでも、あるいは私たちの周

りでも、これからの岩手、日本、ひいては世界がどのような状況を迎えるのか、希望や不安が相半ばする毎日が続いています。

このような時代の歩みの中、昨年2月は、沿岸の被災地である大槌町、そして11月は、久慈市で開催されましたシンポジウムに、アートディレクターとして参画する機会を頂戴しました。この催しは、国土緑化推進機構と、環境パートナーシップいわてとの共同開催で、テーマは「岩手の海岸・緑の再生シンポジウム」というものでした。森づくりや生態系との共生などに関する、専門家の皆さまの御講演を聞く機会としても、とても貴重に思えました。一連のお話を通して思ったことは、海辺に生える木々の佇まいの復旧ひとつをとりにしても、この岩手では、海と山が近いという地形が障害となり、作業がなかなか進まない現実の厳しさでした。とは言うものの、困難さの中に希望や可能性を見出し、専門家の皆様が現地に寄り添い、フィールドをより良い形に整える取り組みに明るい道筋を感じました。

続きまして、もう一つの事例を紹介させていただきます。

それは、当協会が初めて外部の方々と連携した取り組みで、「カーボン・オフセット・キャンペーン」のPRに関することです。岩手県地

球温暖化防止推進センターさまからのお声掛けをいただき、普及のためのオリジナルカードのデザインを会員が手がけるというものでした。[カーボン・オフセット]とは、地球温暖化の原因となるCO₂削減が所定の目標通りに進まなかった場合に、CO₂を吸収する木々を植えるなどして、排出と削減をプラスマイナス・ゼロの次元に近づけようという考え方です。ちなみに、林野庁の示しておりますデータでは、杉の木1本が1年間で吸収するCO₂は、14kgとなっているようです。

このような活動は、環境省をはじめとして、全国に広がりを見せていますが、当協会では、[木と森林]をテーマに、岩手の森林を元気にしよう、というコンセプトのもとに78点のカードを作成しました。

それぞれの作品は、先月21日に岩手大学で開催されました[サステナビリティ・フォーラム2016]の会場に展示されました。今後は、他の会場での展示公開を予定しているほか、印刷して一般の皆様へ配布することも考えております。

このような趣旨や方向性を持つ社会的なムーブメントが、盛岡ロータリークラブさまより御理解や御支援を賜っております、岩手芸術祭の環境部門における活発な応募に結びつき、ますます喜ばしい流れになることを期待しております。

こうした昨今の諸事情を踏まえまして、あらためて受賞作品を見てみますと、創り手がイメージネーションや技法をフルに発揮して、デザインする対象と向き合っていることが強く感じられます。

まず始めに、金賞を受賞されました伊藤美喜さんの作品[これからどうする?]は、これまで想像すらしなかった急激な地球温暖化現象の影響をダイレクトに受けてしまい、今まさに生存の危機に直面するシロクマおよび地球の危うさを、すぐにでも崩れんばかりの積み木を通して、示唆的に伝えようとしています。細長いイラストを中心部分に配することにより、白い空間を最大限に生かしたデザインが、イラストをより際立たせていると思います。

続きまして、銀賞の米沢彩乃さんの作品[牛のせい]は、牛がゲップの際に吐き出すメタン

ガスや多岐に渡る経済活動や生産活動の結果として、大量の化石燃料を燃やしたりすることなど、実はグローバルな問題点が背景に横たわっている、という想いを牛の表情で表しています。写真を用い、大胆な顔のアップのインパクトが、ポスターとしての注目度を高めています。

最後に、銅賞の中田茉莉さんの作品[地球が沸騰中!]は、温暖化が進行して行き、地球に見立てた南部鉄瓶の温度が上昇する様子を、身に迫る環境リスクとオーバーラップさせています。漆黒に浮かび上がるかのような、熱い熱い地球は、もはや限界に達して今にも爆発するのではないか、とさえ思ってしまう。分かりやすい、シンプルな表現が、印象的なポスターとなっています。

毎年のことですが、このように審査させていただくことで強く感じるのは、わたくし自身への戒めやら教訓やらを込め、日常的に考えたり行動したりする実践が、未来へ向けてさまざまな価値を生み出すだろうという確信めいたものです。普段の小さな積み重ね、あるいは身近な環境を愛おしむ気持ちを持つことが、社会の隅々に良い効果をもたらし、ひいては、デザインにおける発想も豊かになっていければと思っております。

今の岩手のデザイン界では、ベテランの御活躍はもとより、学生の皆さんや、若い世代の才能が開きつつあるように感じられます。是非とも、知的好奇心の対象として環境問題を、それぞれの視点でリアルに捉え、そこから着想したことをデザインというコミュニケーションツールに結実させてほしいと願っています。

おかげさまで持ちまして、岩手デザイナー協会は創立から半世紀という大きな節目を越え、日々新たな考えのもとに前進を続けて参りたいと思っております。当協会の活動に対しましては、引き続き、御理解・御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日は、美味しいお寿司と御静聴をありがとうございました。

仙台支部だより

居酒屋で「七福神」飲み干す！

今回は、東日本大震災発災から丸5年を迎える前日(3/10)に開催し、出席者全員で犠牲になられた御霊に黙祷を捧げてからのスタートとしました。

そして、前回開催での皆さんとの約束通り、居酒屋に岩手の酒の品揃えがあることを確認し、岩手酒で乾杯し、飲み干すという趣向です。

皆さん久し振りの岩手の酒、特に「七福神」のお陰で、酒の量が驚くほど進み、全員ほろ酔い加減で話題はいつの間にか盛岡の女性の話に。

口火を切ったのは、久し振りの参加となった鎌滝さん。

あまりにも飲み口の良い「純米酒・七福神」の話から、いつの間にか昔の好みの女性？北上市で出会った「コンパニオン・源氏名：七福神」の話となり、それ以降は、銘々が盛岡時代に出会った盛岡美人の話で、旅館の女将さん・仲居さん、コンパニオンに変遷し、最後は、盛岡RCでの舞子さん招待の秘話も出

るなど、本当に楽しいひとときでした。

そして、気が付いた時には、会場となった居酒屋の「七福神」を全て飲み干してしまい、盛岡を話題に美味しい酒を嗜めることに感謝し、今回も皆さん大満足の会合となりました(どれだけ飲んだのでしょうか)。

次回は、石塚さん、鎌滝さん、風間さんの御三方の古希祝いを兼ね、できれば岩手への泊まりがけでの開催を企画しています。

(文責 小松)



(中央手前より右回りで風間さん、竹中さん、鎌滝さん、椎井さん、石塚さん、木村さん、小松)

例会報告

第34回例会
平成28年3月18日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 岩野法光会長
- ・ソング (それこそロータリー)
- ・ゲスト 村上由美子様 (岩手デザイナー協会 会長)・伊藤美喜様 (環境保全ポスター金賞受賞者)・

- 米沢彩乃様 (環境保全ポスター銀賞受賞者)・中田茉莉様 (環境保全ポスター銅賞受賞者)
- ・会長報告 岩野法光会長
- ・誕生祝 金沢 滋君。
- ・結婚祝 金沢 滋君。
- ・幹事報告 吉江信博幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡東R.C.=3月28日(月)は、通常昼例会が18:30~「すべいん俱

楽部)。

- 盛岡西北R.C.=3月23日(水)は、親睦例会のため18:30~「北ホテル」。
- 盛岡滝ノ沢R.C.=3月31日(木)は、地区大会出席のため休会。

●メークアップ

盛岡北R.C.=熊谷(祐)君。盛岡南R.C.=長野・伊藤君。盛岡東R.C.=星・菊池君。盛岡滝ノ沢R.C.=藤村(文)君。クラブ委員会=橋本・三田・西島・諏訪君。

出席報告 会員数/74名 出席数/47名 出席率/66.2% 前々回/84.72%

プログラムの・3月25日(金) 新入会員卓話 田口信之会員
お知らせ 「駅ビルの現状と戦略について」

- 本号編集担当/金沢 滋
- 次号編集担当/佐藤 仁志